



柏崎市長
あいた ひろし
会田 洋 さん

昭和22年生まれ。大阪市役所に就職後、昭和52年に長岡市役所に入庁。文化行政室主幹として、当時全国的にも先進的だった文化行政を推進。平成3年から6年には、長岡造形大学の設立と運営の基礎づくりにも尽力。平成9年からは、企画部長、都市整備部長、環境部長などを歴任。平成14年、財団法人環日本海経済研究所勤務を経て、平成16年12月より柏崎市長に就任。

■新潟県柏崎市 (人口: 約93,000人 面積: 442.70k㎡)
新潟県柏崎市は、中越地方日本海側の中央に位置し、15の海水浴場と米山・黒姫・八石の刈羽三山に囲まれた、海に山にと自然豊かな街です。基幹産業は工業で、機械金属や自動車関連など多くの企業が立地しており、自然と都市機能が調和した魅力ある都市として、さらなる進化を遂げようとしています。また、柏崎刈羽原子力発電所を有し、エネルギー供給都市としての役割を担う柏崎では、バイオマスタウンの形成や、新エネルギー開発への取り組みも盛んに行われています。

■発電所データ
柏崎刈羽原子力発電所
出力: 821.2万KW(1～7号機計) 運転開始: 昭和60年9月(1号機)
事業者名: 東京電力株式会社

■今号の表紙
ぎおん柏崎まつり海の大花火大会 (新潟県柏崎市)

トップに
きく

新潟県 柏崎市

会田 洋 さん

(柏崎市長)

× 新欣樹

(電源地域振興センター理事長)

海、山、四季折々の魅力があふれる柏崎市。二度の震災に見舞われ「復旧」から「復興」、さらなる「未来」へ。「エネルギーのまち」は、原子力を基盤にしつつ、「ものづくり」の伝承へ、地域一体となつて取り組む会田柏崎市長にお話を伺う。



早春、雪を割って咲く雪割草の花。

四季折々の魅力あふれる 柏崎

新・柏崎市といえば、春には「雪割草」、夏には鯨波をはじめとした十五の美しい砂浜での海水浴や大花火大会、秋には伝承五百年の「綾子舞」など歴史ある伝統行事、冬には「鱈汁」に代表される温かい食など、四季折々の魅力があふれるまちですね。

会田市長・柏崎市は「自然と歴史と文化の息づく町」です。「雪割草」は、越後の長く厳しい冬を耐え抜き、春の雪解けを待つて咲く可憐な花で、新潟県の草木でもありませんが、柏崎市には、「越後雪割草街道」や雪割草が多く原生する「雪割草の里」があり、その保存に力を入れています。

また、柏崎の海水浴場は水質が良いのが特徴で、番神・西番神海水浴場は、環境省の「快水浴場百選」にも選ばれています。
毎年秋に舞われる女谷地区の「綾子舞」は、出雲阿国歌舞伎の流れを現在まで受け継ぎ、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。また、国指定名勝である貞観園は、主石竇木という思想に則つた庭園で、青く苔生した石が特徴的で、京都の苔寺にも比され、落ち着いた様相を見せてくれます。「食」についてですが、柏崎はコ



綾子舞は、出雲の阿国の初期歌舞伎踊りの面影を色濃く残す古典芸能。



西番神海水浴場。子供連れに特に人気で、海水浴や磯遊びが楽しめる。

シヒカリの産地で、一等米の比率が県内一位です。また年間を通じて鯛が釣れることも知られており、これらを使った鯛めしなどが有名です。

米が美味しい、水が美味しいことから、美味しい酒も造られています。かつて日中国交回復の記念パーティーで乾杯に用いたお酒も、柏崎で造られたものだったんです

新・柏崎市ではその恵まれた地域資源と、「ものづくりのまち、エネルギーのまち」としての特長を活かし、平成十八年度に第四次総合計画を策定のうえ、魅力あるまちづくりを進めていると聞いています。

会田市長・柏崎市は「石油の町」に始まり、現在は世界一の原子力発電所が立地している所謂「エネルギー」を機軸として発展してきたまちです。
第四次総合計画は、平成十七年の一市二町の合併に伴い新しい柏崎市のスタートとして、



百二十人の市民の皆様が委員になつていただき、その英知を集めて検討・策定したものです。特に基本理念「好きです輝く柏崎」は、女性の意見を取り入れて決めたものです。

この総合計画は、平成二十八年度までの十年間とし、柏崎市の将来像、重点プロジェクト、まちづくりの基本方針を示した「基本構

想」と、それを実現するための施策、事業、目標、指標などを五カ年ごとに体系的かつ具体的に示した「基本計画」で構成されています。

また、目指すべき三つの都市像として、「ものづくりと技術が集積したまち」「安全で健康に暮らせるまち」「自然と文化が息づく潤いのあるまち」を掲げ、実現に向けて計画を推進しています。

「ものづくり」の継承

新・目指すべき都市像として、第一に「ものづくりと技術が集積したまち」を掲げている点に、非常に共感

を覚えます。そういえば、柏崎市には、大学も二つあるそうですね。

会田市長…ええ。新潟産業大学と新潟工科大学があります。人口十万人足らずの市に二つも四年制大学があるのは、確かに珍しいかもしれませんね。新潟工科大学は、地元人材が育つための大学が欲しいという強い思いから、地元企業が出資して設立されたものです。ものづくりマイスターカレッジの講義なども隣の「ものづくり活性化センター」で行われています。

新…「ものづくりマイスターカレッジ」とは、具体的にどのようなものでしょうか。

会田市長…人材育成の観点から、地



電源地域振興センター理事長

あたらしく新 欣樹
昭和18年生まれ。昭和40年、通商産業省入省。科学技術庁長官官房長を経て、中小企業庁長官などを歴任。石油公団理事などを経て日本原子力発電株式会社副社長、平成21年7月より財団法人電源地域振興センター理事長。

は終わっており、ようやく震災からの復旧の目処がついてきたところですが、

新…震災の影響で、観光客も大幅に減少したと聞いています。当センターとしても何かお手伝いしたいと考え、昨年、海水浴キャンペーンを実施させていただくとともに、東京電力が主催する「新潟フェア」を運営させていただきました。今年度も国の事業に応募し、7月に海水浴キャンペーンを実施しております。また、十月には現地産品の商談会を予定しており、柏崎産品の販売促進の一助になればと思っています。

会田市長…センターの皆さまには、大変お世話になっております。私ど



県のイベントに展示中のEV車

もとしては、震災直後にいただいた数々のご支援も大変助かったのですが、「被災地」ということで遠慮せず、皆様に柏崎に来ていただくことも、非常にありがたいこととなんです。「海の柏崎」には、例年百万人を越える方々が海水浴にお越しいただいていたのですが、震災の年には十六万人まで減少し、大きな打撃となりました。

そのような状況のなかで、私も昨年の夏、キャンペーンの実施されている長野市に参りましたが、大変暑い中で一生懸命にがんばっていただいているセンターの方々を見て、本当に感動しました。お客様も震災前の七割まで回復してお

もとの夏、キャンペーンの実施されている長野市に参りましたが、大変暑い中で一生懸命にがんばっていただいているセンターの方々を見て、本当に感動しました。お客様も震災前の七割まで回復してお

元製造業の将来のものづくりを担う若い人たちに熟練した技術者の技術を継承していくことが重要であると考え、柏崎商工会議所と市、地元工業界でつくる柏崎技術開発振興協会の基盤技術継承支援事業の一環として開催しているものです。

産学官がスクラムを組んで若手人材の育成とレベルの向上を図るもので、平成二十年には、その拠点として市が「ものづくり活性化センター」を設置し、毎週水曜日にセミナーや実技指導を実施しています。現在四期目を迎えておりますが人気もあり、若い人も非常に熱心に参加しているんですよ。

復旧から復興「さらなる未来へ」

新…そのようなまちづくりを進めている中で、柏崎市は、平成十九年七月十六日の中越沖地震により甚大な被害を受けました。地震から二年が経過しましたが、ここまでの復興の道のりは決して平坦ではなかったとお察しします。

会田市長…確かに大きな被害がありました。中越沖地震の前にも、平成十六、十八年にかけては中越地震や水害、豪雪が続き、ようやくそれらの傷が癒え、いよいよ第四次総合計画がスタートするという時に、中越沖地震が起こったわ

ります。

新…私は、単に震災復興というだけではなく「さらなる未来へ」と謳っておられるところに感服しました。

会田市長…「さらなる未来へ」は「震災復興計画」のキャッチフレーズです。一度被災した町は二度と同じ状態には戻りません。ならば、これを機に新しいまちづくりをしていこうと考え、この言葉にいたしました。

復興計画では、平成二十二年までを復興期、平成二十四年までを再生期と位置づけています。

計画では、「市民生活の再生」「まちの活力の再生」「柏崎の魅力の再生」など五つの計画目標のもと、市民と行政が「復興」を実感できるように七つの重点プロジェクトを設定し、事業の推進を図っています。これらの目処が立ったときには、総合計画についても見直しを図っていききたいと考えています。

原子力を基盤に新しい取り組み

新…最後に、今後の課題や展望を教えてください。

会田市長…現在、私は、三つのまちづくりの目標を掲げています。それは、「災害に強い安心して暮らせるまち」、「低炭素社会を目指す



マイスターカレッジの事業風景

被害状況がひどく、一時はどうなることかと思いましたが、国、県、自衛隊、周辺自治体や全国の方々の温かいご支援をいただき、非常に速いスピードで復旧しています。

新…被災された住民の方々のお住まいの状況はいかがですか。まだ仮設住宅が見られましたが。

会田市長…まだいくつか仮設住宅が残っていますが、この八月に災害公営住宅が完成し、仮設仮設住宅にお住まいの方々は、順次そちらに移っていただきました。他の公共施設についてもほぼ修復

エネルギーと環境のまち」、「教育・文化・スポーツの盛んなまち」です。新…「低炭素社会を目指すまち」というのは、非常に注目されますね。

会田市長…「低炭素社会」を進めていく上で、原子力立地自治体である柏崎市では、その原子力を基盤としながらも、それに続く新しい取り組みとして、経済産業省の「EV・PHVタウン構想」にモデル地域として参加しています。現在、EV導入について積極的に取り組んでおり、柏崎市では全国でも初の試みである「EVタクシー」が導入されています。今後は、商工会議所、行政が協力し、年度内に市全体で七台程度EVを導入する予定です。将来的にはEVに必要な部品の製造を行う企業の創出や、そういった研究開発に取り組んでいきたいと思っています。

また、バイオマスタウン構想に裏打ちされた木質ペレット燃料製造やリチウムイオン電池といった新エネルギー関連産業の新規立地を進めていきたいと思っています。

新…原子力発電、EV、新エネルギーが一体となった新しい都市構想は、ひとつのモデルとして非常に良い点に着目されていますね。今後とも「安心・元氣・希望に満ちたまちづくり」を目指しがんばってください。本日はありがとうございました。

震災復興計画 7つの重点プロジェクト

- 災害公営住宅の整備
- 産業支援機能の整備・強化
- 柏崎駅周辺工場跡地の開発・整備
- 新市民会館の建設
- えんま通り商店街をはじめとした商店街の復興
- 海の柏崎の魅力発信
- 災害に強い幹線道路網の整備